

経済ポケット ジャーナル



★シンボ「ポートピア後の神戸を考える」に三百人

博覧会は成功したが、大いなるのはポスト・ポートピア。9月24日、神戸商工会議所が主催してシンボジウム「ポートピア後の神戸を考える」が西山記念会館で開かれた。

作家の小松左京氏による「今こそ神戸は世界にむけてベンチャースピリットを發揮する時だ」と主張する

小松左京氏による
「ポートピアを考えるパネラーたち」



★観光地北野に新名所 三星堂新社屋完成

基調講演に引き続いだ、宮崎辰雄氏（神戸市長）、中内功氏（ダイエー社長）、塩谷忠男氏（太陽神戸銀行頭取）、牧冬彦氏（神戸製鋼所副社長）が発表された話題になつたが、ドイツ人のクラブ「コノルディア」として使われていた由緒ある建物で、今回の新社屋建設によって姿を消すため、新社屋の外側に定礎プレートをはじめ込んでこれを記念している。

また、北野町の観光客の往来の激しい北野坂に面して、植樹や時計台の設置など景観保全

新野幸次郎氏（神戸大学経済学部教授）、小松左京氏（作家）によるパネル討議が行なわれた。

討論は博覧会の成功を契機にした国際文化都市、コンベンションシティづくりに注目した意見を中心進められたが、中内氏は「環太平洋の中心としての神戸を情報の拠点にする」ことを提案。小松氏も「博覧会後一年間がチャンス」と話し、官民一体となっての都市づくりを考えなくてはならないとの課題を残して3時間にわたるシンポジウムは閉会した。



三星堂新社屋完成予想図

車場を地階に、地上3階建の建物

★ジョン・ワイツ婦人服機能性を追求して新発売

メンズファッショングラン年実績をもつジョン・ワ

イツが'81年秋冬より婦人服コレクションを発表した。

★KOBEEオフィスレディ

吉崎有香さん（18歳）

（三菱電機納制御製作所

整流器部高電圧設計課▽

御影工高電子科を出て、

三菱電機へ「やりたい仕事

につけてよかった」し、女

の子は少なく、皆かわっててくれるところ。野球

やサッカーを応援するのが

好きで、巨人の練習選手の

ファン。B.F.はやはりサ

カーキち。高倉健さんのよ

うな無口で、男らしく優し

い男性が理想。一人っ子

やぎ座。自慢のバスは90



ジョン・ワイツ氏

販売に当たる大丸では、9月21日、大阪プラザホテルで同社取締役営業本部長の北尾信一氏が同席のもと、来日中のジョン・ワイツが記者会見に出席し、新しい分野の婦人服を説明した。

ニューヨーク・ファッショニの基本ともいえるシンプルでシックな大人のおしゃれが表現され、仕事を持つ女性のための機能性が追求されている。トライデイングナルなブレザーとスカート、ベスト、パンツ、ショートコートなどアイテムもコーディネイトできるような单品志向となっている。56年度下期（秋冬）は1億円の販売目標をもつていて

コンベンション・センターの積極的展開を

柏井
鈴木

健一
謙一

（柏井紙業株式会社社長
神戸商工会議所情報文化部会長）

中内
多田

力

（神戸ポートピアホテル社長
推進小委員会会長）

栄治
（財）神戸国際交流協会常務理事）

——このほど神戸商工会議所情報文化部会から「コンベンション・センターをめざして」と題する報告書が出来ました。ここで言うコンベンションとは、大会とか会議という意味ですが、同報告書の巻頭には、「コンベンション・シティは21世紀に向けて再び神戸が国際情報都市への復権を宣言するものである」と唱っています。その中では、神戸国際交流基金の創設、産業文化センターの設立などいろいろな提言が行われていますが、今回は、コンベンション・シティについてお話しをお願いします。

神戸は日本唯一のコンベンション・センターをもつ

る計画と平行して出ていた。そこで、情報文化部会としては、コンベンション・シティを取り上げようということで、今年二月にコンベンション・シティ推進小委員会をつくり、ということで積極的に取り組んできました。コンベンション・シティは、単にコンベンションのための施設だけでなく、都市の機能、環境、イメージ、観光資源、アクセスなどの諸条件を含む都市全体、さらには神戸だけではなく、関西、近畿というより広いエリアのなかでどちらないといけないと考えております。

中内 コンベンション・シティの構想の基になっているのは、ポートアイランドのインターナショナル・スクエア（ISQ）計画だったわけです。今から三、四年前に神戸市の方で方針が決められた。そのときにISQにホテルを建てようと見え、いろいろと研究をしました。

柏井さんの方からはマクロ的に説明があつたのですが私はホテル経営というミクロから追求しました。神戸に神戸らしい近代的な国際ホテルを建てるための条件とは何かをいろいろと研究したわけです。

神戸は、戦前は港によって世界への日本の玄関だったのですで、世界中から国内外からどんどん人が集つたわけですが、最近は港湾の物流が中心となつて人があまり来ない

そこに出で來たのがコンベンション・シティです。

もちろん、コンベンション・シティの構想は、博覧会以前にも出でていたわけです。ポートアイランドでのホテ



鈴木 謙一さん



柏井 健一さん

くなった。ホテルを建てて、それを維持して行くために神戸に人を集めないといけないという観点から研究した結果、神戸がこれからめざすのは、コンベンション・シティだということになった。コンベンション・シティとか、コンベンション・センターとかいうことを日本で最初に言い出したのは神戸じゃないか、と思います。

その後、ポートアイランドにもいろいろな施設が具体化して來た。博覧会は、ポートアイランドの完成のお披露目ということもあったのですが、ある意味では、神戸のコンベンション・センターのこけら落としということで行われたと思います。博覧会が終ったあと、神戸の将来の発展の方向として、このコンベンション・シティ構想は非常に大きな柱になって來ました。

鈴木 最初に今回のコンベンション・シティ構想の前提のようなお話をさせていただきます。

私は昨年、大阪府の産業ビジョンづくりのお手伝いをしたのですが、これは、産業ビジョン⁸⁰といいまして、自治体の産業ビジョンとしては初めてのものだと言われています。そのときに、副題に、個性からの出発—生活文化産業、国際化の進展をめざして、とつけた。一番の



多田 栄治さん



中内 力さん

ポイントは、もう地盤沈下とか、陳腐なことは止めよう。自己卑下は止めよう、ということなんです。今、あえて大阪の話をしましたのは、この副題は普遍性をもつていると思うんです。そのまま神戸に当てはまると思う。府の方で生活文化産業振興方策を具体化して欲しいという要請がありまして、実は私はその方をやっているのですが、大阪と比べてコンベンション・シティ神戸は実現性がある。自分自身が参加していて、非常に希望があると思っています。逆に大阪の場合は、私は虚しさを感じた。ビジョンは書いたけれど、果して実現できるのだろうか、という意味で虚しさを感じたわけです。

なぜ、その違いが出るかと言うと、文化はソフトだと思うのですが、私は、ハードがないと生きないとと思う。大阪に虚しさを感じたのは、いいアイディアを出してそれを実現する場所がない。神戸の場合は、コンベンション・センターがすでにあるわけです。神戸国際交流協会の管理運営する国際会議場、国際展示場、神戸貿易促進センター、それに隣接して一一〇〇名を収容できる神戸ポートピアホテル、さらに市民広場、スポーツセンター、科学博物館などが結集し、日本で初のコンベンショ

ン・センターができた。

今まで神戸は実験都市だといわれ、神戸発のものがよそで大きくなったり、アイデイアは出すのだけれど、それもよそに取られるとかとすることが多かったのですが、今度のコンベンション・シティは、すでにそのセンターがあるということで実現性があると思います。

多田 国際会議場は三月一日にオープンしました。端的に言つてこの六ヶ月余は、申し込まれた会議を、いかにスムーズに運営していただくように事務局がサポートするかということに精いっぱいであったということです。九月一五日に博覧会が終了するまでに、五四一件の会議、一般演目をこなしました。そのなかには、国際会議が九件入っています。スケールではもっと大きな国際会議やイベントもあるでしょうが、種類においてはひとわたり全部当つたのではないか、という気がします。

ボスト・ポートピアの問題としては、いかに多くの会議、いかに多くのイベントを自分の施設に引きつけて、この町の賑わいを保つて行くかということですね。全員がセールスマンドという考え方で、神戸市内はもちろん、東京をはじめ遠方まで積極的に乗り出して行くべきではないかと思っています。

それと、コンベンション・オルガナイザーの専門会社との関連ですね。コンベンション・オルガナイザーは、コンベンションの誘致機能を果たすだけではなく、関連業界を取りまとめ、コンベンションを円滑に進める総合調整や演出の役割を担つており、これらの関連業界の育成も今後、大きな課題になって来るわけですが、そういうノウハウをもつてゐる会社の仕事と館側がいかに歯車をうまく組み合わせて行くかについても、今後もつともっと勉強をしないといけないと思っています。

まず、ベースになるコンベンションを誘致する

文化でも、ワンウェイ受身の文化ではなくツーウェイ、一方的に話を聞くというのではなく、お互いに話し合うことが非常に大事にされている時代ですね。これを一言でいうと、画一文化や複製文化に飽き足らず、本物志向が非常に強まって来た。たとえばテレビのように一方通行のものを見ているだけでは満足できなくて本物が見たくなる。それが、コンベンション成立の一つの大好きな条件ですね。

国際化ということが、ますます言われるようになつてますが、国と国との交流ではなく、本当は民間交流が主体でなければ意味がない。そして、民間交流は今後ますます進むであろうと思われる。民間交流が主体になつて行くということは、神戸がコンベンション・シティとして発展する条件になると思っています。

柏井 そういう需要の高まり、広がりはあるのは事実ですね。このチャンスをフルに利用できるように、神戸としては考えないといけないですね。

鈴木 その通りですね。今言いました本物志向は、必然的に地域の時代の到来を意味します。それは、また、文化の時代に通ずる。このように、地域の時代と国際化時代は文化の時代を象徴します。いわば、産業が文化をリードする時代ではなく、文化が産業をリードする時代であり、それには幅広い人間交流が欠かせない条件ですね。その意味で、コンベンション・シティ神戸は、その実現の客観的条件が非常に有利だと思います。

中内 また、ハード面でも一層の充実が必要ですね。とりあえず、国際会議場、国際展示場、ホテルの三点セットはできたのですが、現在の規模では、まだ、不十分だという点がありますね。

コンベンションにも経済単位があるということです。最近は、最底千人から二千人のコンベンションが経済単位になつてゐる。メインホールが七百人というのは、ちよつとコンベンションがやりにくい。七百人を対象にコンベンションをやると、七百人を集めるということです。

鈴木 ところで客観条件は非常に有利だ。世界の流れが神戸にとつては有利だと思います。なぜかと言いますと、

ロパンをはじかないといけない。そうすると、いろんな面での金銭的制約がコンベンションにかかるつて来る。そういう意味では最低、千人あるいは千五百人という単位でコンベンションを企画すれば、もっと内容のあるコンベンションが計画できるのではないか、という指摘も大分いただきました。そういう面で、ハード面の一層の充実も必要だと思うし、ソフト面にしても現在のところ殆んどないわけです。ただ、神戸はコンベンション・シティとしての条件としては素晴らしいものをもっており、日本を代表するコンベンション・シティとして成立する可能性は十分にある、という自信はもてると思います。

多田 先天的要因はすでに備っているということですね
中内 コンベンションは、町のイメージとの関連度が非常に高い。緑の山、青い海、近代的な町並み、さらには日本の中心的な場所にあって交通の便もいい。そして、観光的要素もある。神戸ほど素晴らしい条件をもったコンベンション・シティはないでしょうね。

鈴木 視野を広げて世界の神戸ということで、ピーチ・アールする必要があるでしょうね。

中内 コンベンションには、二つの種類があると思います。一つは、そのコンベンションは必ずその都市のその場所で開かれる決つていてるものと、もう一つはもち回りですね。これは、東南アジアを含めてもち回りでやる。あるいは、もっと広く、世界中を回つて行くものですね。神戸としては、もちろん両方を考えないといけませんが、やはりベースになる、毎年、あるいは二年、場合によつては四年に一ペんでもいいのですが、必ず神戸のコンベンション・センターで開かれるベースのコンベンションをまずつくることが必要です。

柏井 そこでメッセ(国際見本市)との関連が出て来る。展示場と会議場をもつてるのは日本では神戸だけです。鈴木 メッセか、コンベンションか、という議論はする必要がなく、総合的に考えるべきですね。相関関係があるわけです。もち回りは、国際的にも、国内的にも大事

ですが、特に国内で危険なのは機能分担論ですね。たとえば、神戸に国際会議場が出来たで京都はさびれてしまつたという話になることです。いい意味で機能を分け合うのはいいのですが、安易に考えると非常に危険だ。お互いに競争をしていい企画をするということが大切です。中内 やはり地域特性を生かすということですね。たとえばアパレルにしても、日本の伝統的な着物は京都をおいては考えられない。ところが、ヨーロッパ・アッシュショーンとか近代的なファッショーンでは京都でやつても似合わない。これは神戸でやる。神戸は神戸らしいコンベンションやメッセを創造していくべきですね。

多田 神戸にふさわしいコンベンションを地道につくり上げ行くことが大事ですね。それが、たとえば、

映画なら神戸映画祭という話になり、芸術の展示では、ビエンナーレ、トリエンナーレの話になって出て来ているわけですね。定着というのは一つの大きな要素です。柏井 そういう意味では、今度できるファッショーン街区は常設メセミタなものですよ。

中内 ファッショーン・タウンとコンベンション・センターは完全にリンクされていますね。

柏井 それを補完する意味で国際展示場があるわけですね。

楽しみながら学べる産業文化センターの設置を

中内 今後のコンベンション施設の整備としては、アリーナ(屋内競技場)があります。一つのサンプルは東京の日本武道館です。アメリカでは各都市にアリーナが設置されている。これは非常に多目的に使える。大体、ボクシングとか、プロレスに一番向いている。周りが全部立体的な観客席で、四方から同じ条件で舞台が見られるというよさがある。中央部は案外と狭いので、会議を行つた場合でも非常に有用なわけです。どうしても最大で一万人から一万二、三千人入れる施設が必要ですかね。この程度の人数なら今のボートライナーの輸送能力で十

分です。足の問題はないと思います。

多田 来年の三月から毎年、国際ポートショーキを開くの

ですが、ポートショーキの目玉はヨットですね。ところが

会議場にはヨットが入らないので、屋外の駐車スペース

を借り切ってやるのですが、アリーナでヨットの展示を

する要件はたった一つ。入口の大きいのをつくればいい。

中内 アリーナの中央部は展示にも使える。だからヨッ

トのような大きな展示物が搬入できる開口部が必要です

また、アリーナの床はウエイトは無制限。どんな重量物

をもって来てもいいという条件を備えないといけない。

スポーツにもコンベンションにも展示にも使えるという

大規模、多目的施設がアリーナです。

鈴木 コンベンション・シティとして考えた場合、経済

性、収益性も大事なんですが、あまりそれに拘わらない

方がいいですね。ポートアイランドをつくるのに一四、

五年かかっている。その核であるコンベンション・セン

ターが本当に完成するためには、二一世紀を展望しない

といけない。だから、目先のことではんじがらめにして

しまわないで、将来の展望を踏まえて、ある程度、情勢

によつて変わり得ることが必要ですね。それと、もう一

つは、人間交流の場ですから、未来都市だと乙に満まし

て人形の家みたいにしないで、人間が散策できるような

雰囲気も必要ですね。ポートピア⁸¹が祭であったよう

に、コンベンションもまた、人を引きつける祭です。

柏井 経済性の追求ばかりを考えないことですね。

中内 それと、産業文化センターの設立の提言ですね。

実は、当初からコンベンション・センターに常設展示場

をつくるという話があつたのですが、それが発展したも

のが産業文化センターだと思います。

鈴木 美術館だとか、展示場などと型が決つてしまつ。

そういう固苦しいものではなくて、現代科学の成果を伝

達するために、ファッショニ・ショーやエレクトロニク

ス応用技術、遺伝子工学の成果、新素材、ロボット利用

などについて、芸術性と娛樂性をとり入れた先端産業の

展示を行い、市民が親しみをもつて先端産業を理解できるようにする施設ですね。

中内 これができるかできないかが、コンベンション・セ

ンタ―が成功するかしないかの大きな要因になる。と

いうのは、他の施設はコンベンションなどのイベントの

あるときに計画的に利用される。市民や外から来られた

方がぶらっとそこへ行ったときに、新しい文化や技術に

触れるようなものが常設で展示されていることが必要に

なると思う。ここへ来れば、エレクトロニクスとか、省

エネルギーの新しい技術とかが當時、いろんな形で展示

されているということは、非常に大きな意味があります。

柏井 神戸市が常に言つている憩い、集う町ということ

が、こういうものによつて実現化へ向かうわけですね。

鈴木 結局、これは、パリのポンピドー芸術センターの

主旨を生かしたものですね。故ポンピドー大統領が、す

べての芸術、美術、音楽、さらに学術にいたるまでを一

つの屋根の下に集めて、直接、作家と市民が触れ合い、

民間の文化的レベルアップを計るという考えによつて建

設されたものですね。その主旨を生かすものです。

柏井 今、産業文化センターの設立、アリーナなどのコ

ンベンション施設の整備、コンベンション・オルガナイ

ザーなど関連業界の育成など、コンベンション・シティ

としての魅力度の向上と便益性強化のためのいろいろな

施策が話に出たのですが、もう一つ、神戸交流基金の創

設を提言しています。これは、ポートピア⁸¹の剩余金の

一部を基金として、コンベンションの神戸開催に対する

助成制度を設けるなどして、神戸の国際交流事業を積極

的に推進する。これは、また、ポートピアの精神を生か

すことでもあると思います。

いずれにせよ、ポートピアに千六百万人が来た。日本だけではなく世界からも人が來たし、相当な知識人も参加していた。この流れを絶やすことなく、コンベンション・シティへどうつないで行くか。これが今後の大きな課題だと思います。

(ブランドウプランにて)

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区旗塚通6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センターープラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

佛ベニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 葛野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の企画は以上5社の提供によるものです。

●シンガポール「第11回日本文化節」

シンガポールで神戸二紀が美術展

シンガポールではここ10年にわたり「日本文化節」が毎年3週間開かれている。これはシンガポールの国民に日本の文化に接触する機会をつくり、すぐれた日本文化を大いに吸収させカルチュア・ショックを与えようというシンガポール政府の行事である。

今年度は日本からは音楽、舞踊、書道、映画、民族芸能などが参加したが、美術部門では二紀会兵庫支部(理事長中西勝氏)がその出展を引受け、9月5日から9月10日までシンガポール国立近代美術館で展覧会を開いた。

二紀会兵庫支部はこの美術展のために絵画の作品52点をシンガポールに空輸し展覧した。

この「日本シンガポール文化交流展」にあたり、神戸二紀のメンバー15名、中西勝、大西敏巳、高崎研一郎、犬童徹、上西良一、小原実知成、佐野弘利、松下元夫、



シンガポール国立近代美術館



オープニングで挨拶する中島大使



ワールドトレードセンターを見学



緑に包まれて美しいシンガポール

山崎朔三、渡辺照定、瀬戸和夫、丸山百合子、森恵、八木茉莉子、栗谷房代さんなどを中心とした文化交流使節団を編成し、团长、神戸輸入促進フォーラム理事長田嶋克己氏、元町画廊社長佐藤廉氏、六甲ライオンズクラブのメンバーも参加、総勢31名の使節団がシンガポールを訪問した。

9月6日、同美術館でオープニングセレモニーが星日文化協会の主催で開催され、シンガポール文化関係者も多数が出席、在シンガポール日本特命全権大使中島敏次郎氏が出席して祝詞を述べた。また、星日文化協会会長鐘伯郡氏から感謝状が神戸二紀に贈られた。神戸二紀を代表して、中西勝氏が「これを機会に是非ともシンガポールと神戸との文化交流を深めたい」と熱のこもった呼びかけをした。そして、日本の児童画50点などを贈った。このシンガポールでの滞在中、

星日文化協会の肝入りで3度、4度にわ
たる交流パーティが開かれたが、シンガ
ポールの画家の沈雁さん（シンガポール
芸術学院長）は二科入选の作家でもある
が、神戸二紀のレベルの高い作品に感激
し終始、神戸二紀メンバーとシンガポー
ルの作家との交流の介添えの役割を果さ
れていたのが印象的であった。

勿論、シンガポールは公園都市国家を標榜する街であ
るが、都心部、住宅地ともに緑に包まれた街のたたずま
いは素晴らしいの一語に尽きる、美しさであった。

何分、都市国家であるから、その都市規模も雄大であ
る。また国全体の行政も行届いており都市としての活力
も、目覚ましいものがある。

シンガポール通産省、経済開発庁長官の NGIAM
TONG DOW さんのご好意で「シンガポール・ワール
ド・トレード・センター」に建設中のコンベンションホ
ールを見学することができた。このトレードセンターは
常設展示場をもつてているスケールの大きなものである。
さらに田嶋克巳氏（神戸輸入促進フォーラム理事長）と
目下建設中のチャンギ空港を視察した。案内下さった

のは同行日本高等官の李金發、鄭清江
のお二人である。

国家都市シンガポールの活力源はつ
まりフリーポートであるということに

尽きるのかも知れないが、政府の施策
も筋が一本通っているようである。

「現在、チャンギ国際空港の航空機
の発着は200機あり、シンガポー



シンガポール風景をスケッチ
する中西勝伯

ル港には毎日200隻の船が入っています。訪問客は'81
年度は790万人が見込まれている。

チャンギ空港のエアカーゴ総量は'80年度177、0
00トンは年に6%~7%の伸び率である。第一期事業
費が1、500億円、第二期工事が500億円で竹中工
務店が工事を請負っているが、大規模な世界的規模の空
港であり'83年12月竣工の予定」ということであった。

今回シンガポールと神戸二紀の交流について中西勝氏
は「やはり、国際交流というものは新鮮な感動がある。美し
いシンガポールもいいが画家達はシナ人街やインド人街
などを喜んでスケッチしていた。神戸二紀展にシンガポー
ルの作家が参加できるようにしたい」と話している。

△取材／小泉康夫▽



オープニング・セレモニーに全員集会



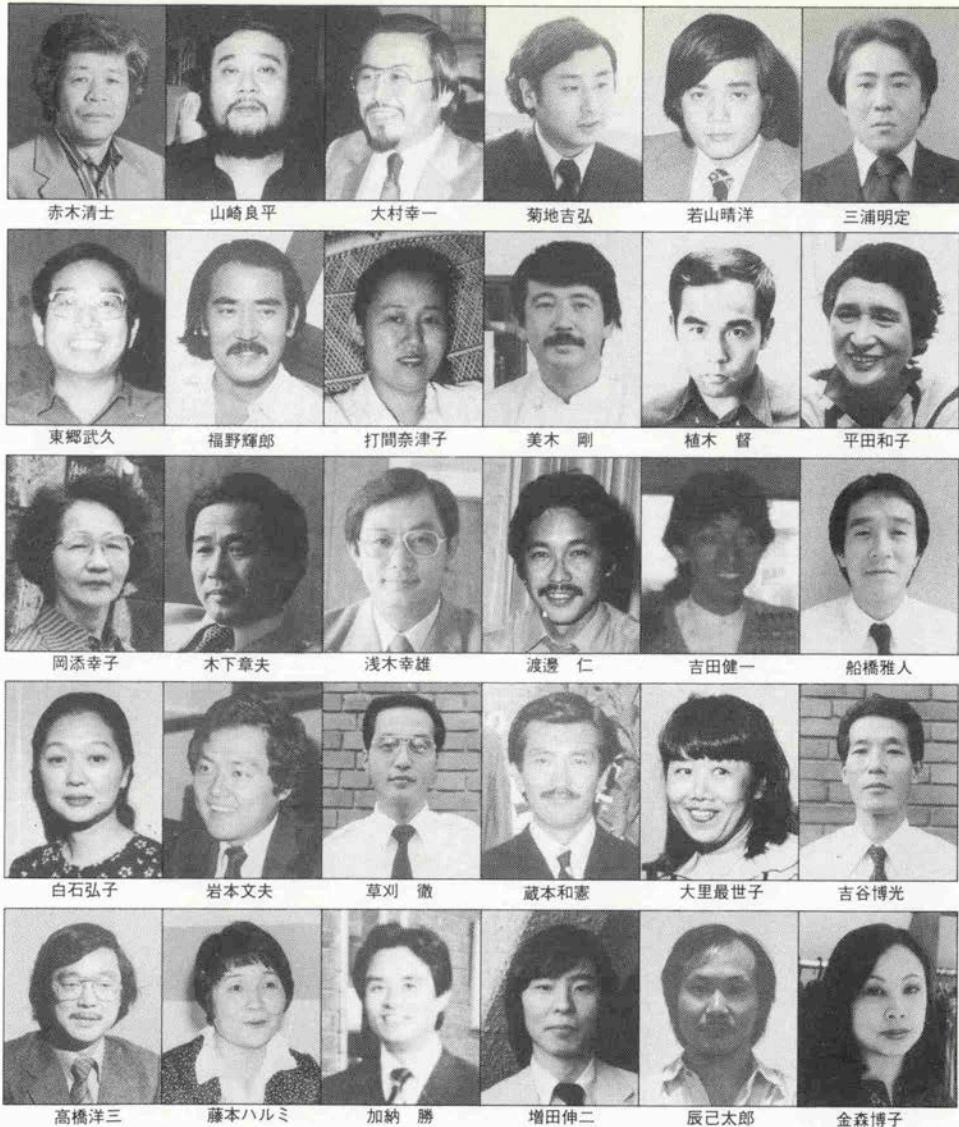
星日文化協会からペナントを受ける神戸二紀



最後のお別れパーティに星がきれいだった

北野町群像

★北野町界隈の魅力づくりについての提言



北野町界隈のユニークな街づくりは、今、全
国的な注目を集めている。そして地元神戸でも
観光の最大の拠点になつた。街の若い人たちが
この街づくりの中心。ハレの場所、最も魅力あ
る界隈づくりがつくられようとしている。

北野町界隈をより魅力のある美しい街に

三浦 明定（クインズコート・キングスコート、英國館オーナー）

6月に世界一周をして観た中で最近の人々は物をハントする。そして文化やふれあいや街の情緒を欲しがっていますね。それはテストな趣味の良い情緒産業です。

だから北野界隈の消費プラス観光に文化的情緒の蓄積が必要ですね。若山 晴洋（ローズガーデン館代表）なにもないところから出発した北野の街は、ムダを大切にして、ムダを積み重ねていき、そして新しい街になっていきます。それは住宅、商業施設、オフィス、文化施設がバランスよく調和されてい

る人間の街です。

菊地 吉弘（㈱ベアーズ代表取締役）北野界隈を文化財として守る姿勢から、創造する方向に進めてはどうか。行政側でスペースを確保、民間側から総合プロデューサーを抜擢して企画運営を任せ、北野町をイメージアップする商業空間を創ることを提案したい。

大村 幸一（セント・ジョージ・ジャバ）絵になる場所としての北野町をいかに持続させるかが問題だ。店がどんどん増え、店の仲間が集まつて、お客様が楽しめるような北野町づくりを心がけたい。横浜の元町のように週末に気さくに歩け

るような雰囲気を育てていきたい

山崎 良平（ビストロ・ドゥ・リヨン）

7年前いまの店を始めた頃と様相は一変した。最近の風見鶲ブームはわざとらしくて嫌いだ。北野

は北野の能力とキャバシティを知るべきだ。フランスのサントノーレのような町になつてファッショノももっと本格的なものがほしい

赤木 清士（北野らんぶ館）

技術文明が進歩すればするほど人間はいろいろな悩みにつきたり、心理的な余裕を持つ環境が必要だと思う。その環境づくりのために古き良き時代の手作りの歴史を大切にすると共に、北野町という風土景観を保存していくたい

平田 和子（帽子デザイナー）

土・日曜に絵かきさんが絵を並べられるような余裕のスペースができる、モンマルトルのように芸術的な香りがただよう町になればと思う。ブティックが増えているが、オーナーのセンスがひとめでわかる個性的な店であつてほしい

植木 督（神戸コレクションパーソナルプロデューサー）

が多いという特色を生かして程度の高い北野文化を作っていくたい

美木 剛（ジャン・ムーランオーナー）

舗道が整備され街並はきれいになつた。今後は文化的な意味での発展を願つて、北野町を訪れた人々が住民たちがゆったり寛げる広いスペースの公園、その中に多彩な催しが絶えずあるような小ホールが出来れば素晴らしいと思う。

打間奈津子（バビロンタワーズ）

北野町は全体としてのまとまりがないと思う。まずグループづくりが必要だ。そして、大きなイベント。それによって人を引きつけれる。何よりも人が流れ活気のある町にすることが大切だ。地元の人々の意気込みが望まれるとと思う。

福野 輝郎（キタノサーカス・オーナー）

通りを大事にしたいですね。人は常に見られていることによって鍛えられ洗練されるもので、歩く人たちを眺められるテラスなどを多く作り、歩く人々は視線を感じる主役となつて、遊ぶ空間としての通りにしたいですね。

東郷 武久（サムホール・オーナー）

北野はモノを考え、表現できる街です。提案しながらモノを売るという環境のある街です。このカルチャーアートがにおう街には、コンサ

ートや発表会が気軽にできるコミニティ・ホールのようなものも欲しいですね。

船橋 雅人（ファミリア北野坂マネージャー）

異人館観光に地元の若者は来ないんです。買い物だけの魅力でなく、小さなコンサートやファッショントリビュートや地元の人達が楽しめるイベントを催せる文化施設が、

見て、食べて、遊んで、楽しいショッピングができる街に

浅木 幸雄

（アサキンターナショナル社長）

現在の北野はファッショナブルな若者の街だが、そこにシックさを入れてほしい。観光客あての店がふえたが、北野は付加価値のある町だ。薄っぺらいものでござんす、神戸の人も魅力を感じる店をつくってほしい。

木下 章夫

（㈱木下真珠代表取締役）

12月から新社屋の一階でオーダーサロン、小売を始める。町には

独自の雰囲気と暖わいとパワーが合った小売の展開を考えている。岡添 幸子（栄光室飾株式会社取締役）神戸は真珠の街。そのメッカにあたる北野町で真珠に携わって26年、町に対する愛着もひとしおです。北野町らしい雰囲気をもつた所にはない独特な専門店が増え

ます。北野町らしい雰囲気をもつた所にはない独特な専門店が増えます。北野町に来てまだ一ヵ月半ですが、地元の人達がなかなかあがつてきてくれないです。東京っぽ

（アサキンターナショナル社長）

出来、いい傾向だと思います。

吉谷 博光（にじゅら珈琲専務取締役）

異人館ブームにのって店も増えたが、「売らんかな」だけの商売でなく、北野町全体の調和を考え、ゆとりや寛ぎは失いたくない。

例えば中山手店はビル化すれば儲かると言われるが、そんなことをする気は毛頭ありません。

大里最世子（ブティック魔女）

北野町は住宅街の雰囲気と異国情緒が溶けあつた最も神戸らしい街。お洒落をして人が集まりオリジナリティな洋服は北野でしか買えない！という魅力を醸しだし、より密度の高いファッショントリビュートが楽しめる街になって欲しい。

藏本 和憲（VAN & KENT SHOP店長）

北野町に来てまだ一ヵ月半ですが、地元の人達がなかなかあがつてきてくれないです。東京っぽ

北野町に欲しいです。窓げるスペースとして公園があつてもいい。

吉田 健一（コワヒュール幹人）

ファンション都市神戸のリーダーシップ的存在が北野町。若いオーナーたちの努力により空間的にも街区的にもこのままでいけばうまくまとまるような気がする。今脳細胞を柔軟にして個性を考えな

おす必要があるでしょう。

渡邊 仁（雑誌「ドレッサー」エディター）

土曜、日曜の原宿・表参道の惨状を見るにつけ、観光客をこれ以上寄せつけない方策でも考えてみてはどうですか。

騒々しい北野町では、何が魅力かよ、とでも言つてみたりま

す。

い街だと思うけど、気どりなく、店同士が横の結びをもつて努力していくべきだと思う。観光タウ

ンで終わつてしまつては寂しい。

草刈 徹（北野ガストロノミ店長）

北野町は、本物志向の良い物であれば、「必ず売れる」という不思議な町です。だから観光客自

の店の本来の良さを根強く打ちだせば、本当の商売ができると思う。

それが店の個性にもつながります

岩本 文夫（岩本株式会社代表取締役社長）

北野町が発展していく時に頭打ちになるのは、交通の便と駐車場不足。観光地特有のムード作りもまだで、地元のもつて親切な応対が必要と思う。エキゾチックな雰囲気を盛りあげる平日や夕暮れ時の散策を楽しんでほしい。

若い人だけでなく、年配の方た

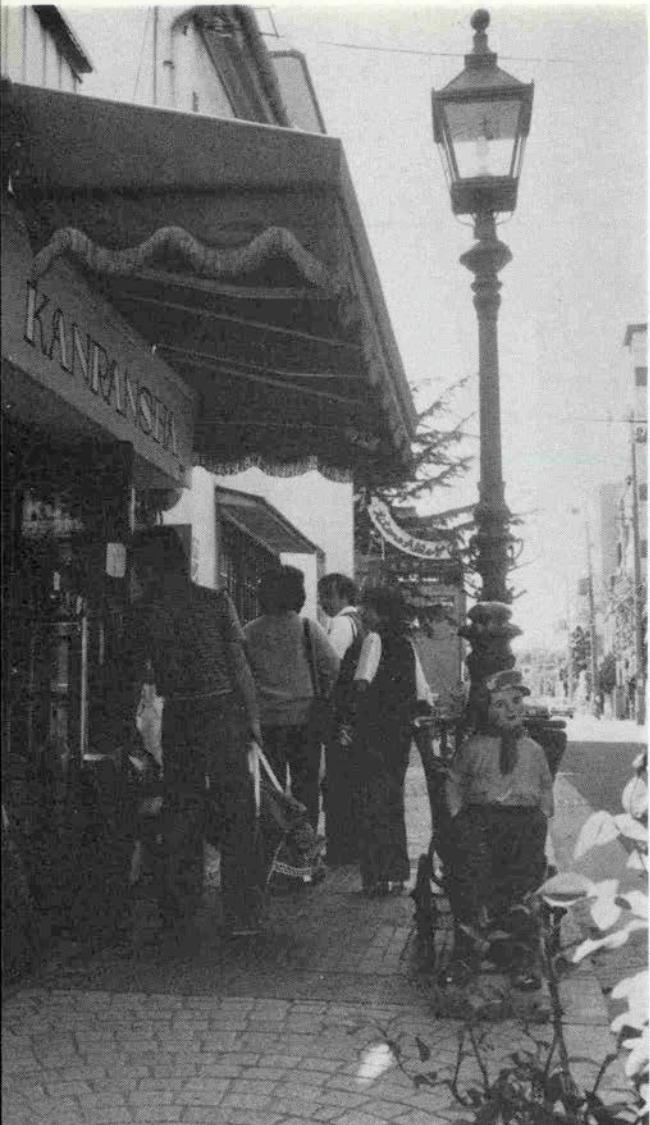
ちにも満足できる、ほんとに個性的な店がある街になって欲しいですね。ハダに触れるようなもの、例えば、旅行者でも自然のなかで絵付けをして楽しめる焼き物の設備があればいいですね。

金森 博子（MOGA店長）

北野町はもともと閑静な住宅街で交通の便もあまりよくないため商業圏として今が限界かもしれない。北野町で個性あるブティックとして存続するためには個性とボリュームが必要、そして何よりお客様を大切にすることだと思う。

辰巳 太郎（ル・セラムオーナー）

北野町には三宮でも元町でもない町としての雰囲気ができつついから大事にしていきたい。ロー



ズガーデン美術公募展は5回を迎えたが、今後も続けたいし、商売だけでなく生活する上でゆとりを持った我々の姿勢を見てほしい

増田 伸二（ペレットハウス店長）

国際色豊かな住宅街であり、ファッショビルが立ち並ぶ若者の街の二面を持つ北野町は過去と未来が雑居している良さがある。だが現状はテナントが集まつたに過ぎないような気がする。何かトータル的なテーマが必要だと思う。

加納 勝（ハリングギャラリーCOL）

今の中戸には中戸らしさがないと、よくお客様にいわれるのですが、これは、この北野町界隈しかないと、と思って出店し、商いを元町で憶えましたので、その良さを残し

たい。そのためには流行に流されない辛抱のいる商品で頑張りたい

藤本ハルミ（マーガレットオーナー）

神戸に外国人がもたらした文化がありました。現在の北野町には異人館見学とショッピングしか無い

のが残念です。神戸っ子が集つて何かできるサロンが沢山あれば、もっと香り高い街になるでしょう

高橋 洋三（高橋兄弟商会常務取締役）

住む限りは誇らしく思えるような街であって欲しいですね。そのため、建設的な意見をのべ合う地域グループを作り、個々の人たちの協力参加による共同意識でもって街づくりをすすめていくべきでしょう。

北野坂の町

●ハンター坂
現在は王子動物園の東隣に移築されている「旧ハンターハウス」は、現存異人館の中では最も規模が大きい。



★北野町の高台で素敵なお出で会い

カツブルで少しお洒落をして出かけてみませんか。美しい夜景を眺めながら味わう選りすぐりのフランス料理ディナーコース5千円(7千円)、食事の後は1階のダンスホールで音楽とダンスとドリンクをお楽しみください。(カツブルで1万円)
昼食には女性専用のクイーンズランチ3000円(税・サ込)もございますので、お気軽にご利用ください。
クリスマスパーティ・忘年会受付中



★フランスの食文化を伝えて

料理場のことをフランスではキュイジヌと呼び、画家や彫刻家のアトリエと同様、瞑想にふけり作品を完成させる場所として大切にしています。フランスの文化を忠実に伝えることは至難ですが、私たちは本場と同じものを創りたいと願い、画家が絵筆を一本一本選ぶように素材や道具に心を配っています。ビストロ・ドゥ・リヨンの料理人たちは銅を磨くことから一日が始まります。



レストラン・ナイトクラブ

北野フラブ
北野町1-5-7 ☎222-5123

フランス料理レストラン

ジャン・ルーテン

異人館通り ☎242-4188

レストラン
Bistro de Lyon

山本通2-13-6 ☎221-2727
正午~10PM 月曜定休

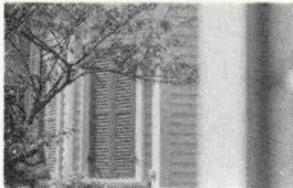
★パリの雰囲気をそのままに

北野界隈の異人館通りと北野坂の北野町4丁目にあつた。今の異人館東側の坂である。邸は北野町4丁目についた。今の異人館とつたのがハンターバーである。邸は北野町4丁目についた。今の異人館とつたのがハンターバーである。

北野界隈の異人館通りと北野坂の北野町4丁目にあつた。今の異人館東側の坂である。邸は北野町4丁目についた。今の異人館とつたのがハンターバーである。邸は北野町4丁目についた。今の異人館とつたのがハンターバーである。

5 11
00 30
P A
M M
10 2
00 00
P P M M

水曜日定休



異人館。坂道。そして 新しい出会いの町・北野

★20世紀初めの英國の館
英國館（旧フデセック邸）は、一九〇七年に英國人設計技師によつて建てられました。当館では、当時の英國人が日常使つていた家具、調度品、小物などをすべて英國人による厳密な時代考証を経て、英國から直接輸入して展示をしています。当館においてはじめて當時の英國人の生活を満喫していました。

入館料・大人：○円、小人：○円
開館時間・10：00～AM 5：00～PM 無休



★北野のバラエティショッピング

ローズガーデンはショッピングと出会いの小さな広場です。ちよつとお茶を、ちよつと買ひのものに、散歩の途中でちよつとどこかでひとやすみ、ちよつとしやれたひとときを。そんな時、気軽に立ち寄つてみてください。小さくてかわいいブティック、上品でシックなお店、広場、階段、緑、花……、そして楽しい仲間たちがあつまつてきています。22のお店をよろしくお願ひします。



★神戸の子のティアヌテージに

Rose Garden

異人館通り 222-1140

異人館俱樂部

罪人館通り 222-1266

公開異人館
國 館

北野町2丁目3-16 ☎221-2132

● 北野坂

以前には“いろいろやの筋”と呼ばれていた。最近、舗道が整備され、北野坂を代表する坂となっている。坂の途中には、ファッショビル、ギヤラリーやギヤラリーをはじめ、シャレたセンスのブティックや、小粋なレストラン、ティールームなどがズラリと両側に並んでいる。山麓から三宮の繁華街まで、一直線に上り下りができる、いわば北野のメツカである。



★ アイビー ホーリーは大集合！
ヴァンカンパニー株の神戸では初めての直営店。アイビーファンのキヤンバスボーリーのためにトータルファッションが展開されている。
シヤツは全て綿100%のボタンダウバー、キヤンバスボーリーのジヤンバー、ワインドウブレイカーパー等、ヤングのライフスタイルに合わせて、靴や下着、小物にいたるまでVANのスピリットが息づいている。



VAN SHOP

山本通2-14-16倉田11号館1F
☎ 241-8207 11AM~7:30PM 水曜定休



★ 主張を持つビジネスマンに
トラディショナル派待望のケントシヨップが、この秋、北野町の異人館通りにお目見えした。
二十九三十歳代のアダルトを対象にエグゼグティブなビジネスマンのためのワードローブが、落ち着いた雰囲気が漂う店内に揃っている。ステッツ、ブレザーを中心には、インポートのニットもあり、自分でセレクトができる主張を持った男性に着てもらいたい一着ばかりだ。

★ 洋服に凝る者たちの集まり
北野坂リンクギヤラリーにオープnedしたFASHION PLACE (コルウ) は、洋服に凝る人達ばかりが集まつて始めた紳士服と洋品雜貨のお店。オーナーの加納勝さんは「どこにもない品を揃え、オーダーメイドを始め、うるさいお客様のご要望に答えられるように行き届いたサービスをしたい」と細やかな心づかいだ。武田則明さんがデザインしたシンプルなインテリアが印象的。



Kent SHOP

山本通2-14-16倉田11号館1F
☎ 241-8207 11AM~7:30PM 水曜定休

Fashion Place
COL
KITANOZAKA KOBE
北野町2丁目7-18
リンク・ギャラリーBフ ☎ 241-0202